

令和6年度 第3回 都田中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年2月18日（火） 14時00分から15時15分まで
- 2 開催場所 都田中学校 被服室
- 3 出席委員 小林 宗吉、佐藤 元久、下原 直美、下村 優子、吉田 恵子、高須 里美、
長谷川 卓人、小出 慎一郎
- 4 欠席委員 神間 郁子
- 5 オブザーバー 谷野 弘勝（都田協働センター所長）
- 6 学 校 生熊 和広（校長）、神村 由貴子（教頭）、鈴木 貞良（教務）、
佐藤 奈帆（CS ディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CS ディレクター 佐藤 奈帆
- 9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、下村委員が本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- （1）学校関係者評価（教務主任）
- （2）来年度の学校運営の基本方針（校長）
- （3）学校運営協議会の自己評価
- （4）夢育やらまいか事業（教頭）

11 会議記録

司会の下村委員から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校関係者評価（教務主任）

議長の指示により、教務主任から、別紙資料に基づき学校関係者評価について説明があり、委員から以下の発言があった。

- ・家庭学習に対して、生徒と保護者間で評価の差がある。生徒は十分学習しているつもりでも、大人はまだ足りないと思っている。（長谷川委員）
- ・子どもは宿題をやれば良い、大人は予習復習もやって欲しい気持ちがある。（高須委員）
- ・教員の、家庭学習の習慣に対する評価が低いので、生徒に十分に伝わっていない。（学校）
- ・長期休暇中の課題の量が多いという意見が、他の保護者からも上がっている。長期休暇明けにすぐ定期テストがあるが、課題を終わらすのに精一杯で、テスト勉強が出来ない。（高須委員）
- ・長期休暇の課題は教科ごとに出すので、以前より増えてしまっているかもしれない。（学校）
- ・子どもが、学習に対しての計画をうまく立てられないので、計画の立て方を日々指導して欲しい。親が言ってもなかなか聞かないので、学校でももう少しサポートしてくれたら、学力が伸びる子もいるのでは。（小出委員）
- ・生徒と先生間に信頼関係がある。書道の指導に入っても、とても良い雰囲気を感じる。（吉田委員）

(2) 来年度の学校運営の基本方針（校長）

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき来年度の学校運営の基本方針について説明があり、委員から以下の発言があった。

- ・小学校での個人に対する周りの印象が、生徒数が少ないが故に中学生になっても継続してしまう。本当は挑戦したいけど出来ない子たちが、勇気を出して挑戦出来る環境になると良い。もっとやりたい、試してみたい気持ちを実現させて欲しい。（下村委員）
- ・リーダーや実行委員を経験した子は、満足感や達成感を得て次も積極的にやろうとする。経験が無い子は、やりたくても毎回やっている子に対して遠慮して、引いてしまうことがある。（学校）
- ・天白祭や体育大会等の大きい行事だけでなく、小さい行事を増やし、実行委員を経験出来る場を増やすのはどうか。あと一歩の子に対して、大人が背中を押してあげる機会を作ることが必要。（下原委員）

(3) 学校運営協議会の自己評価

- ・年齢も職業も違う集会の中でそれぞれの考えがあり、参考にさせてもらった。部活動の地域移行は教育委員会でも話が出たが、CS 会議では意見交換だけで終わったので、先を見越して進めていって欲しい。（佐藤委員）
- ・先生方の意見が直接聞けて、信頼出来る先生ばかりだと思った。（下原委員）
- ・子ども達の活躍の場を増やすことが積極性に繋がる。保護者も一緒に活動出来る行事を増やしたらどうか。学校支援に携わり、子ども達の優しさを感じられた。子どもと本心で話が出来た先生もいて、素晴らしいと感じた。（吉田委員）
- ・全教員参加のグループ協議が良かった。来年度も、活動や支援がより良い方向に向かうよう見直していきたい。部活動の地域移行を踏まえて、地域との連携をより深めて支援を行っていききたい。子どもをいつでも大人全体で見られるようにしたい。（下村委員）
- ・学習支援 CD として吉田さんの授業を見学し、地域との関わりが出来ていると実感した。部活動の地域移行に関しては話し合いが止まっているので、来年度はもう少し発展させて欲しい。先生方が、生徒のやりたいことを受け取り、時間が掛かっても実現してくれることに素晴らしさを感じた。（高須委員）
- ・都田のことは知らない子が多い。子ども達も海外まで目を向けて欲しい。（長谷川委員）
- ・学校運営を先生だけに任せるのは大変なので、保護者と地域も一緒になってやっていく必要がある。子ども達も地域とのコミュニケーションを取るきっかけをもっと増やして欲しいし、CS 会議でも多くの意見が出たので、こういう想いがある方々との交流の機会が増えるといい。（小出委員）

(4) 夢育やらまいか事業（教頭）

夢育やらまいかに対して 6 万円の加算があり、地域と繋がる体験活動及び、教科の学習の充実を図るための外部人材の活用として、講師をお招きすることに使用した。

その他連絡事項

下村学校支援コーディネーターからの活動報告

- ・トイレの暖簾づくりボランティアの募集を保護者にかけてところ、15 名の協力を得た。
 - ・今年度も自転車安全講座を行う。小中学生と一般の方を含め、55 名のボランティア参加希望があった。
- 学校より、次回会議は、令和 7 年 5 月 13 日（火）、都田中学校被服室で開催する旨の報告があった。